

ShinEtsu

しんえつ・レポート

第133期 上半期報告書

(2009年4月1日～2009年9月30日)



連結業績ハイライト



表紙の写真について

ハワイ・マウイ島のハレアカラ山(写真家・高砂 淳二 氏の作品／2009年信越グループカレンダー「NATURE AND LIFE 空と生きる」より)

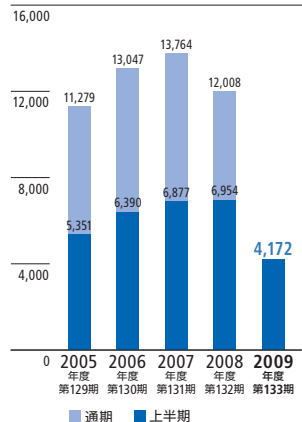
信越化学工業株式会社および連結子会社

(単位：百万円)

	2008年度		2009年度 上半期	2008年度 上半期比増減
	上半期	通 期		
売 上 高	695,413	1,200,813	417,229	[▲40.0%] ▲278,184
営 業 利 益	150,101	232,927	52,939	[▲64.7%] ▲97,162
経 常 利 益	156,519	250,533	55,818	[▲64.3%] ▲100,701
純 利 益	100,953	154,731	35,528	[▲64.8%] ▲65,425
1株当たり純利益	235.04円	362.39円	83.70円	▲151.34円
1株当たり配当金	50.00円	100.00円	50.00円	—
純 資 産	1,513,795	1,407,353	1,460,900	
総 資 産	1,893,516	1,684,944	1,740,579	

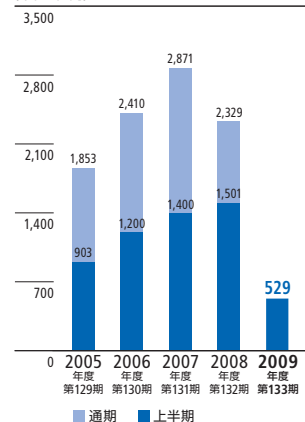
連結売上高

(単位：億円)



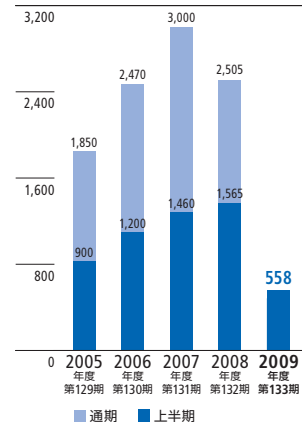
連結営業利益

(単位：億円)



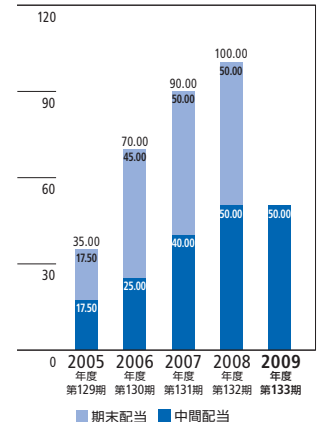
連結経常利益

(単位：億円)



1株当たり配当金

(単位：億円)





世界的な視野で
成長の機会をとらえ、
さらなる発展を期してまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第133期（2009年度／2009年4月1日から2010年3月31日まで）の
上半期報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

代表取締役社長 金川 千尋

2009年度上半期の業績

当上半期の世界経済は、2008年秋口以降、米国に端を発した金融危機の影響による景気後退が継続し、欧米を中心に深刻な状況が続きました。日本経済も一部では景気の持ち直しの動きが見られたものの、設備投資が大幅に減少し、雇用情勢が一段と悪化するなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは、世界の顧客との関係強化に努め、広く拡販していくとともに、事業運営の合理化、効率化や、新製品の開発、事業化にも鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当上半期の業績は、売上高4,172億2千9百万円（前年同期比40.0%減）、経常利益558億1千8百万円（同64.3%減）、純利益355億2千8百万円（同64.8%減）となりました。

配当金につきましては、当上半期の配当金を1株当たり50円とさせていただきます。

主要事業への取り組み

当社塩化ビニル樹脂事業の中核である米国のシンテック社は、米国の住宅市場が長期的に低迷する中、市況の動向を注視しながら、高水準の稼働率を維持しました。

シリコン事業では、景気低迷の影響を受けましたが、顧客への積極的な営業活動と新製品の開発に注力しています。半導体シリコン事業は、お客さまのご要望にお応えし、高品質のウエハーの安定供給に注力しています。光ファイバー用プリフォームは需要の伸びをとらえ、高い稼働率を維持しました。希土類磁石では用途の多様化を進めており、ハイブリッド車用モーター向けを中心に自動車向けの用途が堅調に伸びています。また新製品の高輝度LEDに使われるコート材も好調に推移しました。

将来の成長を見据えて

当社では、長期的な事業の発展のため、設備増強および研究開発への投資を継続的に進めています。シンテック社は、米国ルイジアナ州に7,000エーカー（約900万坪）の工場用地を確保し、2008年秋には同地に原料からの塩ビ一貫生産工場（第1期）が本格稼働しました。現在第2期工事を進め、世界最大の塩ビメーカーとしての事業基盤を強化しています。また、この広大な工業用地は、将来、当社グループ内の多様な事業の強化にも役立てていく考えです。

当社は、半導体シリコン、シリコン樹脂、合成石英などの原料となる金属珪素をオーストラリアで生産しており、将来的な需要拡大が見込まれるため、生産能力の倍増計画を進めています。このように当社グループでは、主要製品の原料安定調達にも取り組むことにより事業基盤の強化に努めています。

研究開発では、独創性のある製品と技術の開発に焦点を絞って進めています。なお、2009年5月には小宮山宏・前東京大学総長を特別顧問にお迎えし、当社の研究開発に関して、貴重なご指導をいただいています。

公正な経営の推進

当社グループは「安全をいかなる場合も最優先し、公正な企業活動を行い、素材と技術を通じて暮らしや産業・社会に貢献することで企業価値を高め、株主の皆さまのご期待にお応えすること」を経営方針としています。このために、厳格な内部統制システムを策定し有効に機能させるとともに、社外取締役および社外監査役の方々に当社の経営および事業活動に参画していただき、公正で透明性の高い経営の実現に全力を注いでいます。2009年6月には福井俊彦・前日本銀行総裁を社外取締役にお迎えし、社外取締役5名、社外監査役3名となりました。

また、企業の社会的責任（CSR）に関しては、世界各地に広がるグループ各社が多様な活動を推進するとともに、さまざまな活動に関する情報を開示しています。

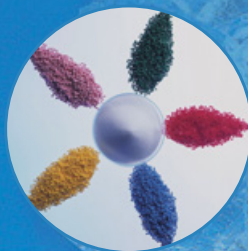
これらの経営努力を積み重ねていくことにより、皆さまのご期待にお応えし、さらなる発展を期してまいります。株主・投資家の皆さまには、一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2009年11月

代表取締役社長 金川 千尋

事業概況

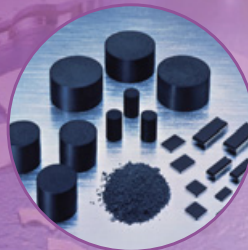
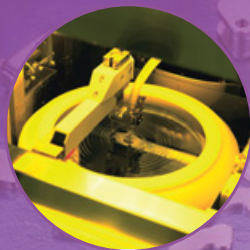
有機・無機化学品



<主な製品>

塩化ビニル樹脂／シリコン／メタノール／
クロロメタン／セルロース誘導体／
キーボード／か性ソーダ／金属珪素／
ポパール／合成性フェロモン

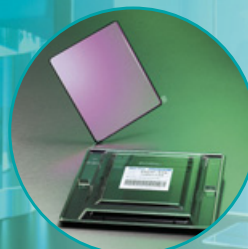
電子材料



<主な製品>

半導体シリコン／電子産業用有機材料／
電子産業用希土類磁石／フォトリソスト製品

機能材料その他



<主な製品・業務>

合成石英製品／レア・アース／
一般用希土類磁石／液状フッ素エラストマー／
ベリクル／技術・プラント輸出／
商品の輸出入／エンジニアリング事業

こんなところにも“シンエツ”

第一三共ヘルスケア(株) 総合かぜ薬「新ルル®Aゴールド」

セルロース誘導体は天然の高分子、セルロースを原料としており、建築、医薬、化粧品などの分野で幅広く使われています。医薬品分野では錠剤のコーティング剤などとして使われており、薬が効率よく体内に届くように、胃や腸など体内で溶けるスピードをコントロールしたり、薬を飲みやすくする機能があります。

家庭の常備薬として広く普及し、かぜの11の諸症状に効く「新ルル®Aゴールド」。このコーティング剤にも、安全性の高い当社のセルロース誘導体が採用され、薬の効能・効果向上に役立っています。



(株)東芝 モバイルノートパソコン「東芝 dynabook SS RX2」

シリコンウエハーは、地球上に多く存在する珪石を精製し純度を高めた多結晶シリコンを原料としており、パソコンや携帯電話などのデジタル製品に不可欠な集積回路(IC)の主材料として使われています。

「薄い、軽い、衝撃に強い」という持ち運びに便利で、長時間のバッテリー駆動を実現した(株)東芝のモバイルノートパソコン「dynabook SS RX2 T9KM/T9K」。この製品に搭載されているSSD※にも当社のシリコンウエハーが採用され、軽量化、薄型化、データアクセスの高速化、堅牢性向上、省エネルギー化に貢献しています。



※SSD (Solid State Drive): 記憶媒体としてフラッシュメモリを用いるドライブ装置のこと

トヨタ自動車(株) ハイブリッドカー「プリウス」

レア・アースマグネットは、フェライト磁石の約10倍の磁力を持つ高性能永久磁石です。その強力な磁気特性は、家電製品や自動車などに応用され、機器の省エネルギー化、小型・軽量化に貢献しています。

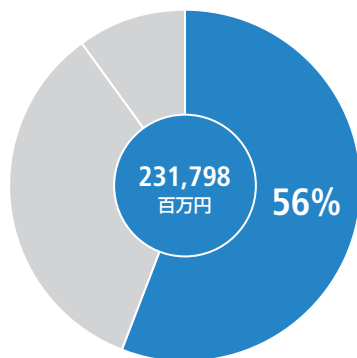
車の動力源として、ガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせるハイブリッドカー。信越レア・アースマグネットは、その高い性能と耐久性が評価され、「新型プリウス※」の駆動モーターに採用されています。



※2009年春フルモデルチェンジされた「プリウス」

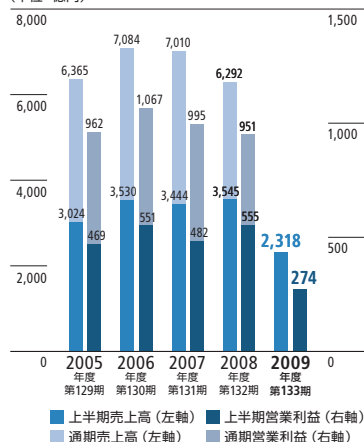
有機・無機化学品

売上高構成比



売上高および営業利益

(単位：億円)



●2009年度上半期の事業概況

【塩化ビニル樹脂】 米国の住宅市場の長期的な低迷を受け、米国同業他社が減産する中で、シンテック社は長年にわたり培ってきた世界中の顧客への拡販に努め、高水準の出荷を維持しました。一方、オランダのシンエツPVC社は、工場定期修理の影響や欧州市場の落ち込みの影響を受け、低調に推移しました。国内事業は、輸出が堅調に推移したものの、需要の低迷により国内出荷が振るわず、厳しい状況が続きました。

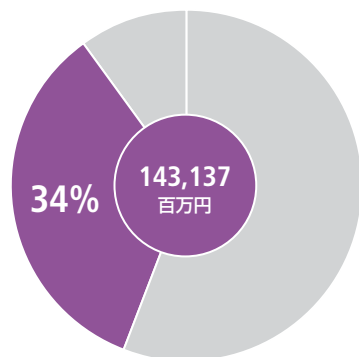
【シリコーン】 海外事業はアジア地域を中心に需要の回復傾向が見られました。国内も電気・電子・自動車用などで引き続き復調が持続しています。信越ポリマー(株)の携帯電話用キーパッドは、需要の低迷と価格競争の激化により低調に推移しました。

【その他】 セルロース誘導体は、国内事業では国内医薬品向けが堅調に推移したものの、建材・工業用は市場に回復感が無く低調に推移しました。ドイツのSEタイロース社は、欧州での建材向け需要低迷の影響を受け、出荷が伸び悩みました。一方、金属珪素製造のオーストラリアのシムコア社は堅調に推移しました。

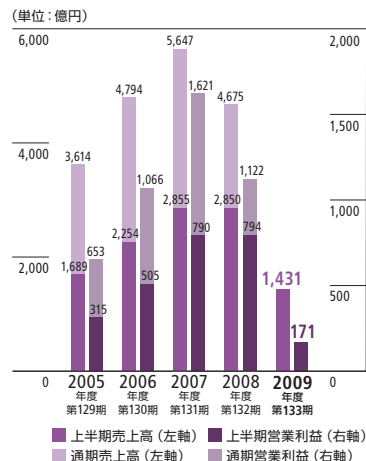
この結果、売上高は、前上半期に比べ1,226億5千8百万円(34.6%)減少し、2,317億9千8百万円となり、営業利益も前上半期に比べ281億6千9百万円(50.7%)減少し、273億6千7百万円となりました。

電子材料

売上高構成比



売上高および営業利益



● 2009年度上半期の事業概況

【半導体シリコン】 世界的な景気減速により携帯電話、パソコン、デジタル家電、自動車向けなどの電子機器需要が落ち込み、半導体デバイス需要も低迷しました。ウエハー需要は、300mmを中心に一部で需要回復の兆しが見られたものの、価格が低迷し、依然として厳しい状況が続きました。

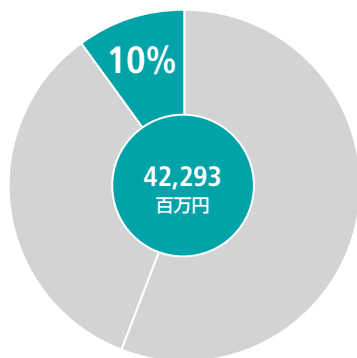
【電子産業用希土類磁石】 パソコン用ハードディスクドライブの需要が回復基調となりました。

【その他】 フォトレジスト製品は堅調な出荷を続けました。電子産業用有機材料は、総じて低調に推移しましたが、高輝度LED用コート材はLED市場の拡大に伴い好調でした。

この結果、売上高は、前上半期に比べ1,418億7千1百万円(49.8%)減少し、1,431億3千7百万円となり、営業利益も前上半期に比べ623億4百万円(78.4%)減少し、171億3千6百万円となりました。

機能材料その他

売上高構成比

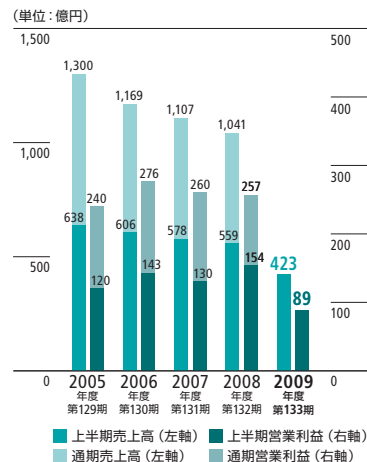


● 2009年度上半期の事業概況

【合成石英】 広域情報網を支える光ファイバー用プリフォームは世界的な通信データ量増大のニーズに伴い、堅調に推移しました。一方、液晶用大型フォトマスク基板は出荷が堅調だったものの、価格は厳しい状況が続きました。

【一般用希土類磁石、その他機能材料】 一般用希土類磁石は、ハイブリッド車用モーター向けは堅調に推移したものの、産業用モーター向けなどの設備投資関連が低調でした。ペリクルは堅調に推移し、また、液状フッ素エラストマーも国内向けは回復基調となりましたが、輸出が振るいませんでした。

売上高および営業利益



この結果、売上高は、前上半期に比べ136億5千5百万円(24.4%)減少し、422億9千3百万円となり、営業利益も前上半期に比べ64億3百万円(41.7%)減少し、89億4千7百万円となりました。

シンエツは“いま”

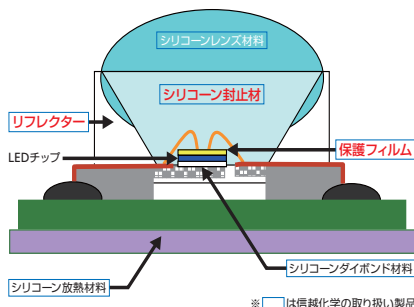
製品

高輝度LED向けに 高信頼性の各種 シリコン材料を開発

LEDは地球環境への負荷を軽減する光源として、信号機などの表示装置から液晶テレビなどのバックライト、さらには自動車のヘッドライトや室内照明など用途が急速に拡大しています。当社は、LEDチップを保護するシリコン封止材、LEDチップを固定するダイボンド材やシリコンレンズなど、数多くのLED用高信頼性シリコン製品を手がけています。

今回、新たにLEDの輝度低下防止に効果を発揮する封止材やリフレクター材、およびLEDの発光むらを抑える効果がある保護フィルムをラインアップに加えました。今後も当社ではLED周辺材料の総合サプライヤーとして、高度化する市場ニーズに応える優れた製品を提供していきます。

LEDの構造



技術

光ファイバー用プリフォームの 製法特許ライセンス契約を締結



当社は、古河電気工業(株)の米国子会社であるOFS社が保有する特許について、ライセンス契約を締結しました。

OFS社は、業界の最も厳しい規格である高品質光ファイバー (Low Water Peak Fiber) を世界で初めて発表するなど先進技術を有しており、今回のライセンス契約により、当社は鹿島工場での現有生産能力を利用し、高品質な光ファイバー用プリフォームの増産が可能となりました。これからの世界的な光通信量の拡大に伴い、増大する需要に対応していきます。

経営

株式公開買い付けにより ポルトガルのシレス社を完全子会社化へ

当社は、欧州における塩ビ製造販売関連会社のシレス社(ポルトガル)を完全子会社化しました。同社は今後信越グループの一員として、さらに生産技術力と販売力の向上を図ります。シレス社の完全子会社化により当社は、オランダのシンエツPVC社とともに欧州の塩ビ事業を強化し、シンテック社を中核とした米国、欧州、日本の3極体制で世界中の顧客に販売を拡大していきます。



経営

シムコア社 金属珪素の生産能力を倍増



当社子会社であるシムコア社(オーストラリア)は金属珪素の生産能力を2013年末までに倍増することを決定しました。金属珪素は、当社の主要製品である半導体シリコン、シリコン樹脂、合成石英の主原料です。また、世界的な普及が期待されている太陽電池にも使用されています。これら主要製品の原料安定調達および将来的な需要拡大を見込み、増設計画を進めています。

連結決算の概要

貸借対照表

(単位：百万円)

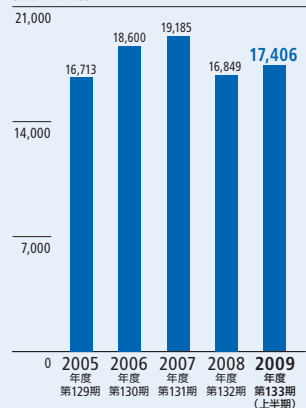
科 目	2008年 9月末	2009年 9月末
(資産の部)	(1,893,516)	(1,740,579)
流動資産	971,496	834,695
現金・預金	228,914	200,930
受取手形・売掛金	321,191	250,278
有価証券	148,315	115,032
たな卸資産	198,922	191,032
その他	74,150	77,421
固定資産	922,020	905,884
有形固定資産	665,392	644,171
機械装置及び運搬具	231,136	282,596
その他	434,255	361,574
無形固定資産	23,731	18,460
投資その他の資産	232,896	243,252
投資有価証券	151,449	151,410
その他	81,447	91,841
資産合計	1,893,516	1,740,579

(単位：百万円)

科 目	2008年 9月末	2009年 9月末
(負債の部)	(379,721)	(279,678)
流動負債	323,798	204,587
支払手形・買掛金	140,890	89,409
短期借入金	7,504	10,067
その他	175,404	105,110
固定負債	55,922	75,091
長期借入金	19,399	14,565
その他	36,522	60,525
(純資産の部)	(1,513,795)	(1,460,900)
株主資本	1,464,755	1,497,574
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,177	128,177
利益剰余金	1,245,336	1,291,400
自己株式	(-) 28,177	(-) 41,423
評価・換算差額等	3,265	(-) 81,915
新株予約権	2,446	3,661
少数株主持分	43,327	41,580
負債純資産合計	1,893,516	1,740,579

総資産

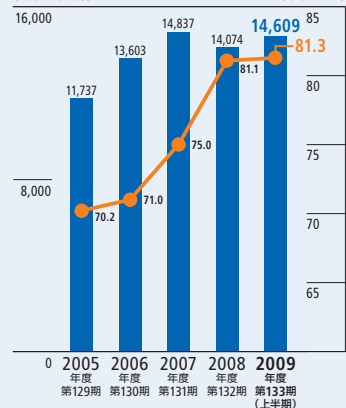
(単位：億円)



純資産／自己資本比率

(単位：億円)

(単位：%)



■ 純資産 (左軸) ● 自己資本比率 (右軸)

※2005年度までの各事業年度の「純資産」の額は、「資本の部」の額を表示しています。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	2008年度上半期 2008年4月1日 ～2008年9月30日	2009年度上半期 2009年4月1日 ～2009年9月30日
売 上 高	695,413	417,229
売 上 原 価	482,245	316,304
売上総利益	213,168	100,924
販売費・一般管理費	63,066	47,985
営業利益	150,101	52,939
営 業 外 収 益	13,343	9,746
営 業 外 費 用	6,924	6,868
経常利益	156,519	55,818
税金等調整前純利益	156,519	55,818
法人税・住民税・事業税	42,692	10,869
法人税等調整額	11,654	9,365
少数株主利益	1,220	54
純利益	100,953	35,528

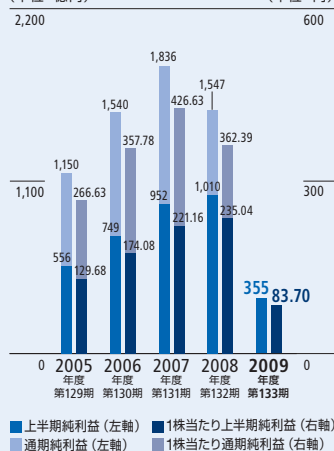
キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	2008年度上半期 2008年4月1日 ～2008年9月30日	2009年度上半期 2009年4月1日 ～2009年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,910	76,458
税金等調整前純利益	156,519	55,818
減価償却費	61,547	40,740
法人税等の支払額	(-) 44,090	(-) 4,482
その他	(-) 27,066	(-) 15,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	(-) 100,183	(-) 49,452
有形固定資産取得による支出	(-) 110,010	(-) 74,998
その他	9,827	25,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	(-) 43,452	(-) 24,250
借入金増減額	(-) 5,373	(-) 2,321
配当金の支払額	(-) 21,512	(-) 21,223
その他	(-) 16,566	(-) 705
現金及び現金同等物に係る換算差額	(-) 5,403	3,418
現金及び現金同等物の増減額	(-) 2,128	6,173
現金及び現金同等物の期首残高	301,619	251,044
現金及び現金同等物の上半期末残高	299,490	257,218

純利益／1株当たり純利益

(単位:億円) (単位:円)



会社データ (2009年9月30日現在)

商 号	信越化学工業株式会社																																																																																						
本 社	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号 電話 03 (3246)5091 URL :http://www.shinetsu.co.jp																																																																																						
設 立	1926年9月16日																																																																																						
役 員	<table><tr><td>代表取締役社長</td><td>金 川 千 尋</td><td>取締役</td><td>フランク・ピーター・ポポフ※1</td></tr><tr><td>代表取締役副社長</td><td>森 俊 三 秋 谷 文 男</td><td></td><td>河 野 俊 二※1</td></tr><tr><td>代表取締役専務</td><td>斉 藤 恭 彦 小 野 義 昭</td><td></td><td>金 子 昌 資※1</td></tr><tr><td>常務取締役</td><td>幅 田 紀 一 高 杉 晃 司</td><td></td><td>宮 崎 毅※1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>福 井 俊 彦※1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>石 原 俊 信</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>宮 島 正 紀</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>中 村 敦</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>荒 井 文 男</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>笠 原 俊 幸</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>小 根 澤 英 徳</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>轟 正 彦</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>中 村 健</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>秋 本 俊 哉</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>松 井 幸 博</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>岡 本 博 明</td></tr><tr><td></td><td></td><td>常勤監査役</td><td>岡 田 理</td></tr><tr><td></td><td></td><td>監査役</td><td>渡 瀬 昌 彦</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>福 井 琢※2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>小 坂 義 人※2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>永 野 紀 吉※2</td></tr></table> ※1 取締役フランク・ピーター・ポポフ、河野俊二、金子昌資、宮崎毅および福井俊彦は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。 ※2 監査役福井琢、小坂義人および永野紀吉は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。			代表取締役社長	金 川 千 尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ※1	代表取締役副社長	森 俊 三 秋 谷 文 男		河 野 俊 二※1	代表取締役専務	斉 藤 恭 彦 小 野 義 昭		金 子 昌 資※1	常務取締役	幅 田 紀 一 高 杉 晃 司		宮 崎 毅※1				福 井 俊 彦※1				石 原 俊 信				宮 島 正 紀				中 村 敦				荒 井 文 男				笠 原 俊 幸				小 根 澤 英 徳				轟 正 彦				中 村 健				秋 本 俊 哉				松 井 幸 博				岡 本 博 明			常勤監査役	岡 田 理			監査役	渡 瀬 昌 彦				福 井 琢※2				小 坂 義 人※2				永 野 紀 吉※2
代表取締役社長	金 川 千 尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ※1																																																																																				
代表取締役副社長	森 俊 三 秋 谷 文 男		河 野 俊 二※1																																																																																				
代表取締役専務	斉 藤 恭 彦 小 野 義 昭		金 子 昌 資※1																																																																																				
常務取締役	幅 田 紀 一 高 杉 晃 司		宮 崎 毅※1																																																																																				
			福 井 俊 彦※1																																																																																				
			石 原 俊 信																																																																																				
			宮 島 正 紀																																																																																				
			中 村 敦																																																																																				
			荒 井 文 男																																																																																				
			笠 原 俊 幸																																																																																				
			小 根 澤 英 徳																																																																																				
			轟 正 彦																																																																																				
			中 村 健																																																																																				
			秋 本 俊 哉																																																																																				
			松 井 幸 博																																																																																				
			岡 本 博 明																																																																																				
		常勤監査役	岡 田 理																																																																																				
		監査役	渡 瀬 昌 彦																																																																																				
			福 井 琢※2																																																																																				
			小 坂 義 人※2																																																																																				
			永 野 紀 吉※2																																																																																				
支 店	大阪支店、名古屋支店、福岡支店																																																																																						
工 場	直江津工場(新潟県)、武生工場(福井県)、群馬事業所／磯部工場・松井田工場(群馬県)、鹿島工場(茨城県)																																																																																						
研 究 所	合成技術研究所、新機能材料技術研究所(以上新潟県)、磁性材料研究所(福井県)、シリコン電子材料技術研究所、精密機能材料研究所(以上群馬県)、塩ビ・高分子材料研究所(茨城県)																																																																																						
従業員数	連結 17,540名(単独 2,659名)																																																																																						
主要関係会社	シンテックINC.、信越半導体(株)、シンエツハンドウタイアメリカINC.、信越ポリマー(株)、S.E.H.マレーシアSDN.BHD.、シンエツPVC B.V.、信越エンジニアリング(株)、SEタイロースGmbH & Co.KG、シンエツハンドウタイヨーロッパLTD.、長野電子工業(株)、台湾信越半導体股份有限公司、直江津電子工業(株)、信越アステック(株)、三益半導体工業(株)、信越石英(株)、鹿島塩ビモノマー(株)																																																																																						

株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行する株式の総数 1,720,000,000株

発行済株式総数 432,106,693株

(注)自己株式7,602,363株が含まれております。

資本金 119,419,688,785円

株主の総数 60,737名

大株主(上位10名)

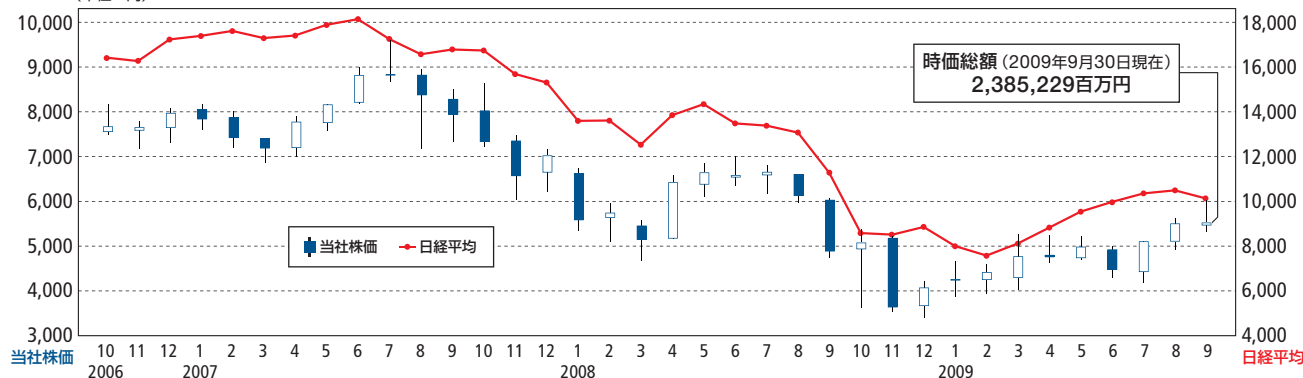
(千株未満は切捨表示)

株主名	持株数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,516 ^{千株}	8.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	31,710	7.5
日本生命保険相互会社	24,370	5.7
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
明治安田生命保険相互会社	11,529	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	11,369	2.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,095	1.7
日本興亜損害保険株式会社	7,077	1.7
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	6,974	1.6
富国生命保険相互会社	6,000	1.4

(注) 当社は、自己株式7,602,363株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

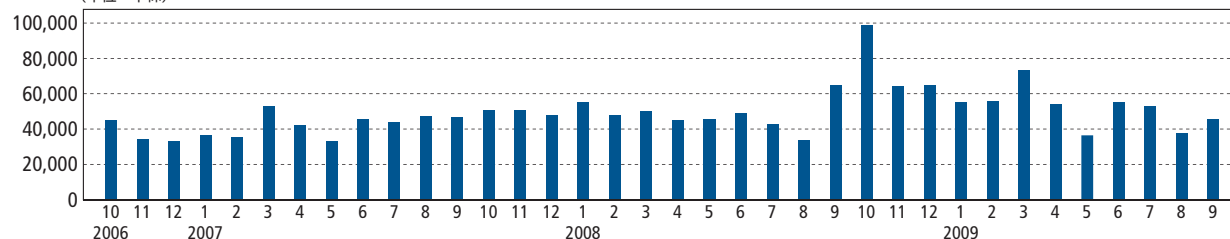
株価の推移

(単位：円)



出来高の推移

(単位：千株)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当受領 株主確定日	3月31日
中間配当受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込指定などの各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株券電子化に伴い、株主さまのお名前などに証券保管振替機構(ほふり)で指定されていない漢字等が含まれている場合、お送りする通知物の宛名の全部または一部がカタカナ等ほふりの指定する文字に置き換わっている場合がありますのでご了承ください。
- 株式事務に関する一般的なお問合せは、上記株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)の電話 0120-232-711 (通話料無料) で承っております。

ShinEtsu
信越化学工業株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号
電話 03 (3246) 5091 URL: <http://www.shinetsu.co.jp>
証券コード: 4063

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のIR情報とともに、株主・投資家の皆さまへのメッセージなど、当社経営および事業のご理解を深めていただくための多彩な情報を掲載しています。

事業や製品情報なども随時最新情報に更新していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.shinetsu.co.jp/j/>



この冊子は森林認証紙に
アメリカ大豆協会認定の大豆油インキで印刷されています。